

金融
セミナー

主催：(株)ビジネス教育出版社

事業性評価融資を実行するための 融資担当者教育のポイント



事業性評価につながる具体的なアプローチ方法を現場目線で解説！

日時

2017年5月16日 (火)

14:00～17:00

会場

(株)ビジネス教育出版社セミナールーム
(東京都千代田区九段南4-7-13)

定員

30名

受講料

¥ 16,200 (税込)

<ねらい>

事業性評価融資の推進にあたり、評価シートは導入しているものの活用がままならないケースが多いようだ。

本講座では、中小企業経営者の実状から、現実的に融資担当者が行うべき・できる業務領域を見定め、事業性評価につながる具体的なアプローチ方法を現場目線で解説する。

本部（融資部・審査部）が支店担当者に行うべき指導やスキルアップ施策のヒントとしていただくものである

講師紹介

(株)マネジメント
パートナーズ
小峯圭太



中小企業診断士。オムロンヘルスケア株式会社にて新規事業開発等に従事した後、独立。現在は製造業の経営改善や事業承継を得意とし、技術者らしい論理的な考え方や柔軟なアイデア発想力に基づくポジティブな支援により高い評価とリピート率をいただいている。

セミナー概要

1. 中小企業の現実 ～社長との「対話」は常に有効か

- ① 経営者が会社の実状をわかっているとは限らない。
ポイント1：過去の業績の要因を説明ができるか。
ポイント2：自社の強み、問題点を認識しているか。
ポイント3：管理会計、PDCAの仕組みがあるか。
- ② 事業性評価は「現状分析」から「将来見立て」をすること

2. 現状分析：金融機関職員が担うべき領域と、外部専門家連携の必要性見極め

- ① 支店担当者ができる「現状分析」と、そのポイント
- ② 「現状分析」が困難なケースでの専門家活用の有効性
- ③ SWOT分析による整理と活用法

3. 将来見立て：金融機関職員による事業性評価アプローチ

- ① 「将来の見立てをする」とはということか
- ② 支店担当者が行うべき事業性評価実務とポイント
ポイント1：社長とともに事業戦略を描く方程式
ポイント2：社長のアイデアから事業計画への落とし込み、検証
③ リスクに備え、成果につなげるための重要ポイント

お問合せ・お申込み

(株)ビジネス教育出版社

TEL 03-3221-5361

MAIL; seminar01@bks.co.jp

https://www.bks.co.jp